

2020年 3月17日

 帝都自動車交通株式会社

## ＜インバウンド対策＞ 4言語翻訳可能な『決済機付きタブレット』導入 2020年3月3日(火)～サービスを開始

帝都自動車交通株式会社(本社:東京都中央区、代表取締役社長:篠崎敦)は、インバウンド対策としてJapanTaxi株式会社(本社:東京都千代田区、代表取締役社長:川鍋一朗)が提供する多言語翻訳可能なセルフレジ型マルチ端末『決済機付きタブレット』を導入し、2020年3月3日(火)より、順次サービスを開始し、3月末に全車導入の予定です。



言語選択画面

決済方法案内

『決済機付きタブレット』とは、多様な決済方法を選択することが可能であるほか、タクシー運転者を介さずに簡単かつ迅速に決済を完了することが可能なセルフレジ型の端末です。タブレットには、多言語翻訳機能が付いており、日本語のほか、英語、中国語(繁体字・簡体字)、韓国語の4言語を選択することができます。言語選択は、決済時のタブレット画面の表記や音声案内にてご利用いただけます。また音声通訳機能『JapanTaxi Translator by POCKETALK』も搭載しているため、日本語がわからないインバウンドのお客様でも安全・安心にご乗車いただくことが可能となります。

当社では、この度の本タブレットへの翻訳機能の追加により、タクシー業界の課題である、増え続けるインバウンド需要の対応を加速させ、お客様サービスの向上に繋げてまいります。

帝都自動車交通は、今後ともお客様の利便性とサービス向上に努めてまいります。  
本件の概要は下記のとおりです。

